

平成24年度補助金等支出明細書

1. 補助金の名称	飼料穀物備蓄対策事業費補助金（牛肉等関税財源）	
2. 事業の目的及び内容		
(1) 目的	わが国は飼料原料の大宗を海外からの輸入に依存しており、海外主要生産国の凶作等による需給のひっ迫に対処し、飼料の安定的供給を図るためには一定量の飼料穀物の備蓄を行う必要がある。	
(2) 具体的な内容	飼料穀物備蓄計画に基づき各地域の配合飼料の生産量・需要量等を考慮した上で、備蓄の運営を行っている。平成24年度はとうもろこし・こうりゃん35万トンの備蓄をする。	
3. 交付先の一般社団法人等の名称	社団法人 配合飼料供給安定機構 (平成25年4月1日付けで公益社団法人に移行)	
4. 交付実績額	62,395千円 (A)	
5. 補助金等における管理費		
(1) 人件費		
(2) 一般管理費		
(3) その他の管理費		
	内 訳	金 額
	合 計	
	合 計	
6. 外部への支出		
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
	支出内容	支出先
	確認検定料	一般財団法人
	合 計	13,524千円 (B)
(2) (1)以外の支出		
	支出内容	支出先
	支払利息	金融機関
	火災保険料	保険会社
	合 計	92,175千円
7. その他		
	内 容	金 額
	合 計	
8. 再補助等の割合	21.7% (B/A)	

平成24年度補助金等支出明細書

1. 補助金の名称		飼料穀物備蓄対策事業費補助金	
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的		我が国の畜産経営の大宗が利用している配合飼料は、輸入依存度の大きい飼料穀物を主原料としている。 飼料穀物のほぼ全量は、海外からの輸入に依存しており、輸出国凶作による国際供給力の激変、港湾ストライキ等のリスクがあり、また、穀物の調達先が米国から南米等へと急速に移行しつつあり、これに伴い、脆弱なインフラ等に起因する輸送面での新たなリスクが顕在化しており、これらの不測の事態が発生した場合には、配合飼料製造業者等の通常在庫の取崩しのみによって、その安定的供給の確保を図ることは困難である。 このため、当飼料機構が所有する備蓄用飼料穀物を、当飼料機構の建設助成した備蓄用サイロを含む一定の保管場所に流動的混合保管方式により備蓄すること等により、配合飼料の安定的供給を確保し、畜産経営の安定に資することを目的とする。	
(2) 具体的な内容		国の「飼料穀物備蓄計画」及び飼料機構が作成する「飼料穀物備蓄実施計画」に基づき、備蓄用飼料穀物の買入れ及び保管を適切・円滑に実施する。	
3. 交付先の一般社団法人等の名称		社団法人 配合飼料供給安定機構 (平成25年4月1日付けで公益社団法人に移行)	
4. 交付実績額			107,120千円 (A)
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			
(2) 一般管理費			
(3) その他の管理費			
内 訳		金 額	
借入金の金利		3,491千円	
保管料		103,629千円	
合 計		107,120千円	
合 計		107,120千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出			
支出内容		支出先	金 額
借入金の金利		銀行	3,491千円
保管料		資料製造会社	103,629千円
合 計			107,120千円 (B)
(2) (1)以外の支出			
支出内容		支出先	金 額
合 計			
7. その他			
内 容		金 額	
合 計			
8. 再補助等の割合			100% (B/A)